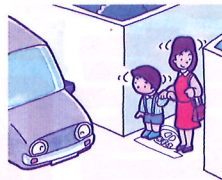


子どもと高齢者の交通事故防止 (特に、歩行者事故の防止)

地域で防ごう子どもの交通事故! ~交通安全は家庭や地域から~

- 「大人」は子どもの「保護者」です。家庭や地域で子どもたちに交通ルールやマナーを身につけさせましょう。
- 大人が手本を示しながら交通ルールを守ることの大切さを教えましょう。
- 歩道がある場合は歩道を歩くこと、信号が青になっても急に飛び出さず左右の安全確認をしてから渡ることなどを繰り返し教えましょう。



なくそう高齢者の交通事故!

交通事故防止の心得

左右の安全を確認める

信号のある場所で渡る

どこでも渡らない

横断中も周囲に目配り

酔っぱらったら外出を控える

夜間は反射材を着用

自転車の安全利用の促進

自転車の安全利用 ~知って助かる『自転車安全利用5則』~

①自転車は、車道が原則、歩道は例外

②車道は左側を通行

③歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行

④安全ルールを守る

飲酒運転、二人乗り、並進の禁止

⑤子どもはヘルメットを着用

※安全のため、自転車に乗る全ての方にヘルメットの着用をお勧めします。

夜間はライトを点灯

信号遵守

交差点での一時停止と安全確認

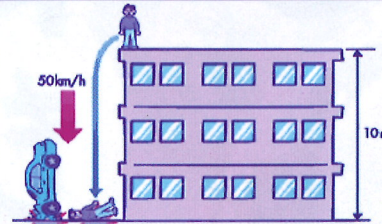


全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

シートベルトの着用効果 ~シートベルトをしないとどうなるの?~

時速50kmで静止している壁に衝突した場合、乗員は、高さ10mからコンクリートの地面に叩き付けられたのと同じ程度の衝撃を受けることとなります。車内では体を拘束していないと、想像を絶する衝撃を受けることになり、時には車外に放出されることもあります。

シートベルトで体を固定しておけば前方への移動をくい止めるブレーキの役割を果たして、乗員を衝撃から守ってくれます。



チャイルドシートの正しい着用 ~知っていますかその役割~

時速40kmで衝突した場合、体重10kgの子供は、300kg相当となり、車外に飛び出したり、ダッシュボードに激しくぶつかったり、大人のクッション代わりになってしまいます。母親が抱っこしていても子供を守れないのです。

チャイルドシートのぐらつき

チャイルドシートの上部を引っ張って3cm以上動くなら、もう一度しっかりと締め付けて下さい。

正しく取り付けなければ、その性能を発揮できません。

チャイルドシートでベルト未使用

チャイルドシートを正しく取り付けていてもベルトを締めずそのまま着座させているだけでは、子供は守れません。

前席には取り付けない

後ろ向きで使用するチャイルドシートは事故の衝撃でエアバックが膨らんだとき、瞬間的にはね飛ばされ、子供に重大な傷害を与える場合があります。

飲酒運転の根絶

飲酒運転のリスクを再認識!

~それでもあなたは、飲酒運転するの?~

飲酒

安易な考え

- ・この程度は大丈夫
- ・どうせ捕まらない
- ・休憩したから

運転

事故・摘発

処分

- ・刑事処分
- ・免許の取り消し
- ・高額な賠償
- ・失職

結果

人生設計が狂う

- ・家庭崩壊
- ・離婚
- ・一家離散

二輪車の交通事故防止 (特に、若年者を含めたマナーアップの推進)

こんな危険な運転していませんか?

進路変更禁止違反

【反則金】 二輪: 6千円
原付: 5千円

追越し違反

【反則金】 二輪: 7千円
原付: 6千円

★渋滞間のすり抜けはやめよう!

★急な進路変更や割り込みはやめよう!

★ヘルメットは正しくかぶろう!

渋滞した車両間をすり抜けるような
“マナーの悪い運転”が
事故に直結しています。